開催日時	令和5年7月25日(火)14時から16時まで				
参加者	委員:8人 事務局:4人 その他:20人(高齢者福祉課:2人、長寿保険課:3				
	人、包括:4人、地区部会関係者:11人)				
場所	龍山森林文化会館 ホール				
内 容					
	1、開会				
	2、あいさつ 浜松市高齢者福祉課 課長補佐				
	3、日程説明				
	SC より今回の趣旨および流れについて主席者へ説明				
	4、各地区の取り組みをふり返って				
	正面スクリーンに投影されたスライドに合わせて、各地区の委員より令和4年度				
	の活動内容について紹介				
	5、ほくえん夢カフェ Part 2				
	~北遠の笑顔が増えるには? 皆さんのアイデアを重ねてみましょう!~				
	当日発表された「居場所」のテーマにあわせて90分のワールドカフェ形式によ				
	り3グループごとで情報共有、意見交換を行いながら作成案をまとめていった。				
	最後はグループごとに発表を行い、共有化を行った。				
	※今回出されたアイデアについては下記に記載。				
	6、総評				
	天竜地区センターの太田センター長より今回の内容の振り返りおよび講評を行				
	った。				
	7、閉会				
	7、闭云				

【ほくえん 夢カフェ アイデア集】

テーマ: 「60~70代の方が参加したくなる居場所のイメージを作ってみましょう」

(A グループ)

○家庭菜園の会(集い)

- ・畑をやらなくなった人が、畑をやりたいけど畑がない人に貸す。(土地の活用)
- ・苗の交換、技や情報交換、品評会
- ・気軽に集まってお茶、お酒を飲んだり食べたり
- 食堂・・・みんなで食べる
- ・常会、昼食、サロン、ゲーム
- 家の外
- ・健康+仕事 ←男性が集まりやすい
- ・メダカ、電飾など趣味のものを置く・・・自然と集まる
- ・ 車で行きやすい場所
- ・まだ働いている →夜、夕方集まりやすい
- ・歩くの大変、暗いと危険・・・昼間
- ・人の集め方・・・直前に 放送、LINE、スマホ

(Bグループ)

○野菜の会、男の料理教室 →大人食堂

- ・野菜づくり →近所へ配布
- ・家庭菜園の集まり・・・はりあい、気持ちがアップ、情報交換できる
- ・秋に大根、人参、まる大根、白菜 4種類のたねを配布して育てる 年会費1,000円
- ・畑は貸す場もあるぐらい 60~70代の話題は野菜、動物
- ・お店の空間に寄って来る人がいた。おしゃべりを楽しんでいた 大工小屋に男性が集う
- ・フリー空間 ただ行って出会える場。お酒もOK
- ・空間だけでは維持が難しい
- ・ちょっとしたものが置いてあると良いのでは。マージャン、レコード
- ・同窓会がない? →ハーモニカ、マージャン
- ・マージャン・・・東栄で60代~90代 弁当持って朝から晩まで

- ・フォークソングの集まり、アメリカンポップ、ディスコなど思い出、趣味
- 集会所の活用を・・・
- ・70代・・・シルバー人材センターとつながる 先輩から教えてもらう+お金の収入
- ・どういうネットワークがある? →子どものつながり、会社(定年退職後の集まり) 若い世代とつながりたい
- ・小さなグループから活動写真で PR、LINE で発信
- ・奥さんが「行ってこい!」と言ってくれる、家族理解
- おみやげがあると帰りやすい

(Cグループ)

○大人食堂

- 食事がある
- 主婦でもリラックスできる
- 昼も夜も
- 誰でも
- いつ来ても帰ってもOK
- 送迎あると飲める
- 食べるものがあれば人は集まる
- ・食事を持ち寄って飲む会 作るのは大変
- ・体調が悪い時に助け合える仲間づくり
- ・何かやりたい人たちが集まる場
- ・テーマを作って(音楽、マージャン、カラオケ、飲み会 ※健康的に)
- ・自分で食事を作る力をつける 佐久間、龍山・・・男性の料理教室ある
- ・すでに居場所がある常会(おひまち)、組合
- ・近所から始めて広がっていく 誰かがやるのは責任があり大変
- ・役割、活躍の場があるバーベキュー、キャンプ場、庭・・・火起こし教える五平餅まつり、そば祭り など
- 一回やって続かなくてもよい・・・色々なことをやってみる

今後の見通し等

昨年度に続き今回も地区部会の関係者もあわせて実施し、非常に意見交換が活発にされたことから、今後も年1回は同じような形式で行っていく事が良いと感じた。

今回アイデアとして出された居場所のイメージ案は、北遠地域における居場所のイメージ案として活用し、取り組みにつなげていく。